

令和7年度

事業報告書

自 令和7年4月1日

至 令和8年3月31日

公益財団法人都市緑化機構

令和7年度事業報告

はじめに

気候変動による猛暑や豪雨といった極端な気象現象が常態化する中、都市における緑が有する防災・減災機能や暑熱環境の緩和機能といった「グリーンインフラ」としての価値が再認識されている。

同時に、都市に暮らす人々の幸福度（Well-being）の向上や、生物多様性の損失を食い止め回復軌道に乗せる「ネイチャーポジティブ」の実現に向けて、都市空間の緑化や自然資本の保全に対する社会的な要請はかつてなく高まっている。

また、カーボンニュートラルの推進に加え、企業等による自然関連財務情報開示（TNFD）の浸透や、民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域（OECM・自然共生サイト）の認定など、産学官民の連携によって民間資金や活力を自然資本の保全・創出へと誘導する取組みが、経済社会の重要な潮流となっている。

こうした状況の下、令和6年11月8日に施行された「都市緑地法等の一部を改正する法律（令和6年法律第40号）」に基づき、官民連携による都市緑地の質・量両面での確保に向けた新制度の運用が本格化するなど都市における緑の保全、創出は新たな局面を迎えている。

現代の都市緑化は、これまでの景観形成や環境保全にとどまらず、地域コミュニティの再生、気候変動、生物多様性の保全への対応、さらには新しいライフスタイルに寄り添う空間の創出など、複合的な都市課題を解決するための多面的なアプローチが必要である。

このような背景を踏まえ、当機構は令和7年度において、法改正に基づき指定された「都市緑化支援機構」としての事業を本格的に始動させたほか、引き続き民間部門等における緑のまちづくりに貢献する都市緑化の支援や緑地の質の向上に向けた先導的な取組などを推進した。

また、今年度末より開催される2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）に向けて、機運の醸成や関連事業の準備を加速させるとともに、SDGs（持続可能な開発目標）への貢献に引き続き取組み、人と自然が調和する緑豊かな都市づくりの実現を目指し、公益財団法人としての運営基盤の強化を図りながら、公益目的事業のさらなる展開・推進を行った。

1 都市緑化推進事業

(1) 都市緑化に関する普及啓発

1) 全国都市緑化フェア

国民の緑化意識の高揚を図るため、第42回全国都市緑化ぎふフェア「ぎふグリーン・ライフ フェスティバル 2025」を岐阜県との共催により、ぎふワールド・ローズガーデン、ぎふ清流里山公園、養老公園、世界淡水魚園、岐阜県百年公園、各務原公園及び飛騨会場が連携し開催した。

主 催 岐阜県、公益財団法人都市緑化機構

開 催 地 ぎふワールド・ローズガーデン、ぎふ清流里山公園、養老公園、世界淡水魚園、
岐阜県百年公園、各務原公園及び飛騨会場

開催期間 令和7年4月23日（水）から6月15日（日）（54日間）

開催期間中には、全国都市緑化フェアにおける都市緑化の普及啓発催事の一環として、緑地の良好な管理運営や都市緑化の推進、緑地の保全に関する各種活動を通じ、緑地の市民開放等による地域社会への貢献等に顕著な功績が認められ全国の範となる企業の取組みを顕彰する第13回みどりの社会貢献賞の表彰式を全国都市緑化祭において実施した。受賞した企業、社会貢献活動は以下のとおり。

- ・株式会社銀の森コーポレーション「銀の森キャンパス」（岐阜県中津川市）
- ・株式会社関ヶ原製作所「せきがはら人間村」（岐阜県関ヶ原町）
- ・鍋屋バイテック会社（共同事業者：株式会社エスエフジー・ランドスケープアーキテクト）
「関工園」（岐阜県関市）

その他、第13回みどりの社会貢献賞において、「みどりの社会貢献賞」に準ずる取り組みとして「特別賞」、今後の取り組みにより、更なる深化・発展が期待できる取り組みとして「奨励賞」を以下の取組に対し授与した。

- ・特別賞 イビデン株式会社 イビデンの森及び東横山発電所
「祖業の水力発電事業ゆかりの地で森林づくり」（岐阜県揖斐川町）
- ・奨励賞 キヤノンオプトロン株式会社 本社工場 「We make Nature Positive」
「自然との調和を目指し未来をつむぐ」（茨城県結城市）

また、公益財団法人高原環境財団の協力によるフェア会場内での子どもたちの環境教育や、一般社団法人日本造園建設業協会の主催による「全国造園デザインコンクール」と連携した優秀作品の展示に取り組んだ。

加えて、今後の全国都市緑化フェアの開催を予定又は検討している地方公共団体に対し、引き続き情報提供及び事業支援等を実施した。

2) 全国都市緑化祭

第 42 回全国都市緑化ぎふフェアの中心行事として、佳子内親王殿下の御臨席のもと、令和 7 年度全国都市緑化祭を開催した。

式典では佳子内親王殿下のおことばを賜り、その後、メイン会場であるぎふワールド・ローズガーデンをご視察された他、同公園において記念植樹を行った。

主 催 国土交通省、岐阜県、公益財団法人都市緑化機構
式典会場 ぎふワールド・ローズガーデン プリンセスホール雅
開催日 令和 7 年 5 月 21 日 (水)
式典概要 開会宣言
主催者挨拶
佳子内親王殿下のおことば
表彰
・庭園出展コンテスト
・みどりの社会貢献賞
小学生による都市緑化宣言
閉会宣言
※式典終了後、会場ご視察、記念植樹

3) 都市緑化キャンペーン及び普及啓発ポスター

市民の都市緑化意識の高揚を目的として、以下のとおり、都市緑化推進運動協力会の事務局として、都市緑化キャンペーンを開催した。

毎年 10 月の都市緑化月間中に開催している都市緑化キャンペーンは、昨年引き続き有楽町駅前広場を会場に、賑わいのなかで開催した。

また、一般財団法人日本宝くじ協会の協力により、普及啓発ポスター等を作成し、以下のとおり配布、掲載した。

① 都市緑化キャンペーン

主 催 都市緑化推進運動協力会 (企画運営 公益財団法人都市緑化機構)
実施日 令和 7 年 10 月 3 日 (金)
会場 有楽町駅前広場 (東京都千代田区)
概要 花鉢等プレゼント (花鉢 700 鉢ほか)
(登壇者)
国土交通大臣政務官 吉井 章
第 30 代日本さくらの女王 片山 慶子
第 30 代さくらプリンセス 神戸 さくら呼
公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会 事務総長 河村 正人
都市緑化推進運動協力会会長 高梨 雅明
全国都市緑化フェア、GREEN×EXP02027 の PR
参加者数 約 1,100 名

②普及啓発ポスター

- 時期 「春季における都市緑化推進運動」(4月1日～6月30日)
「都市緑化月間」(10月1日～10月31日)
- 配布枚数 各12,000枚
- 配布先 国、地方公共団体、緑化関係団体、日本商工会議所の会員、
日本民営鉄道協会加盟の私鉄各社等905団体及びその関係団体

4) その他

令和7年度「都市緑化月間」(10月1日～10月31日)をはじめ、国や緑化関係団体等が行う緑化に関する諸行事に対する後援、協賛を行った。

(2) 都市緑化に関する顕彰・助成

1) 都市の緑3表彰

① 緑の都市賞

明日のみどり豊かな都市づくり・まちづくりの推進を目的として、樹木や花などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化等に先進的かつ意欲的に取り組み、良好な実績と成果を挙げている市民団体、企業、地方公共団体等を顕彰している。

第45回「緑の都市賞」は、審査委員会(第一次審査委員会:8月22日(金)、第二次審査委員会:9月17日(水))開催。委員長:樺山 紘一(公益財団法人渋沢栄一記念財団 理事長)を経て、以下の12件が受賞した。

第45回緑の都市賞 受賞者一覧

●内閣総理大臣賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
緑の事業活動部門	馬場川通りアーバンデザインプロジェクト	群馬県前橋市	都市再生推進法人(一社)前橋デザインコミッション/株式会社ランドスケープ・プラス

●国土交通大臣賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
緑の市民協働部門	世界遺産・フィールドミュージアム「おぎの美術館」	奈良県奈良市	奈良女子大学生生活環境学部住環境学科景観デザイン学研究室/一般財団法人公園財団飛鳥管理センター
緑の事業活動部門	中外ライフサイエンスパーク横浜	神奈川県横浜市	中外製薬株式会社
緑の事業活動部門	「堺自然ふれあいの森」が取り組む大阪府堺市の南部丘陵における拠点施設の構築	大阪府堺市	ふれあいの森パートナーズ

●都市緑化機構会長賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
緑の市民協働部門	あいな里山公園における市民活動	兵庫県 神戸市	あいな里山参画団体運営協議会
緑の事業活動部門	Edible KAYABAEN	東京都 中央区	平和不動産株式会社
緑のまちづくり部門	田辺公園を活用した障がいのある人の自立支援について	京都府 京田辺市	京都府京田辺市/東レ建設グループ（東レ建設(株)・京阪園芸(株)・東洋コミュニティサービス(株)/(一社)京田辺みんなの働くプロジェクト

●第一生命財団賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
緑の市民協働部門	大濠公園ガーデニングクラブ花壇づくり	福岡県 福岡市	大濠公園ガーデニングクラブ

●奨励賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
緑の市民協働部門	北瀬湖畔ガーデン体験と交流が生まれるクロステラス	福井県 あわら市	特定非営利活動法人 awarart
緑の市民協働部門	安全で安心して住めるまち「花とみどりの夢広場」づくり	広島県 呉市	大道田まちづくり支援の会
緑の事業活動部門	安部幼稚園における緑地の活用と保全	神奈川県 横浜市	学校法人安部幼稚園
緑の事業活動部門	川崎市麻生区早野梅ヶ谷特別緑地保全地区の保全活動	神奈川県 川崎市	東京農業大学地域環境科学部

② 緑の環境プラン大賞

みどり豊かな都市環境で育まれる人と自然とのふれあいやコミュニティの醸成等を実現することを目的として、優れたプランを国土交通大臣等によって表彰し、そのプランの実現のための助成を行う第36回「緑の環境プラン大賞」を、一般財団法人第一生命財団との共催により実施した。

第36回「緑の環境プラン大賞」は、審査委員会（9月5日（金）開催。委員長：進士 五十八 福井県立大学名誉教授・前学長）を経て、シンボル・ガーデン部門として以下の3団体に対して約3,000万円（1団体あたり約1,000万円）、ポケット・ガーデン部門として以下の10団体に対して約1,500万円（1団体あたり約150万円）の助成を決定した。

第 36 回緑の環境プラン大賞 受賞者一覧

●シンボル・ガーデン部門

賞	受賞作品	所在地	受賞者
国土交通大臣賞	遊びを通して子育て、樹育て「森の入口」プロジェクト	東京都 渋谷区	一般社団法人渋谷の遊び場を考える会
都市緑化機構賞	鶴崎コモンズみんなの庭	兵庫県 淡路市	鶴崎コモンズ
第一生命賞	「結びの丘」～地域と未来を結ぶ桜の名所～	宮城県 仙台市	七北田公園活性化協議会 7 DAYS, Peace.

●ポケット・ガーデン部門

賞	受賞作品	所在地	受賞者
国土交通大臣賞	地域の縁側～暮らしの井戸端プロジェクト～	宮城県 仙台市	株式会社未来企画
第一生命財団賞	Bless Garden～おかえりと、ひと息と～	岩手県 下閉伊郡 山田町	一般社団法人 BlessU
コミュニティ大賞	ゆりあげ・浜辺の花壇	宮城県 名取市	ゆりりん愛護会
コミュニティ大賞	春夏秋冬 素材のやま庭	茨城県 石岡市	一般社団法人やさび
コミュニティ大賞	地域の笑顔が広がるリサイクルファーム	埼玉県 秩父市	学校法人弘道学園 秩父こども園
コミュニティ大賞	電車で広がる地域コミュニティ「駅庭」	京都府 京都市	嵐電沿線協働緑化プロジェクト
コミュニティ大賞	姫路市『安富町花あじさい復活プロジェクト』	兵庫県 姫路市	兵庫県姫路市立安富中学校
コミュニティ大賞	あいあいの杜 広場	岡山県 瀬戸内市	特定非営利活動法人 あいあいの杜
コミュニティ大賞	街中で集える憩いの木漏れ日スポット	大分県 大分市	社会福祉法人新樹会 南春日こども園
コミュニティ大賞	空き地再生！安らぎとふれあいのビオトープガーデン	大分県 大分市	宗教法人教尊寺

③ 緑化技術コンクール

気候変動への適応、2030年ネイチャーポジティブの実現、官民連携による居心地の良い空間づくりやにぎわい創出等の実現に資する緑化技術について、積極的に取り組み、優れた成果をあげている民間企業、公共団体、個人等を顕彰している。令和7年度は、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会と連携し横浜で行われる2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）に向けて海

外に発信すべき緑化技術等をテーマとする特定テーマ部門を実施した。

第24回「緑化技術コンクール」は、審査委員会（9月11日（木）開催。委員長：山田 宏之 大阪公立大学農学部 教授）を経て、以下の9件が受賞した。

第24回緑化技術コンクール 受賞者一覧

●国土交通大臣賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
緑化施設部門	赤坂グリーンクロス	東京都港区	積水ハウス(株)/日本生命保険相互会社/(株)日建設計/大林・銭高・岩田地崎建設共同企業体/箱根植木(株)/(株)日比谷アメニス
緑化施設部門	2025年日本国際博覧会大屋根リング	大阪府大阪市	(公社)2025年日本国際博覧会協会/藤本壮介/(株)E-DESIGN/(株)東畑建築事務所/(株)梓設計/(株)大林組/清水建設(株)/(株)竹中工務店/大和リース(株)

●環境大臣賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
緑化施設部門	HARUMI FLAG	東京都中央区	鳳コンサルタント(株)/三井不動産レジデンシャル(株)/三菱地所レジデンス(株)/野村不動産(株)/住友不動産(株)/住友商事(株)/東急不動産(株)/東京建物(株)/NTT都市開発(株)/日鉄興和不動産(株)/大和ハウス工業(株)/三井不動産(株)/(株)日建設計/(株)日本設計/(株)三菱地所設計/東急建設(株)/(株)長谷工コーポレーション/前田建設工業(株)/三井住友建設(株)/住友林業緑化(株)/イビデングリーンテック(株)/(株)石勝エクステリア/東武緑地(株)

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
緑化施設部門	石神井公園駅～大泉学園駅間の高架下広場	東京都練馬区	西武鉄道(株)/(株)西武不動産/西武緑化管理(株)/(株)武田清明建築設計事務所/ACID NATURE 乙庭

●日本経済新聞社賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
緑化施設部門	竹中育英会学生寮	東京都練馬区	(株)竹中工務店/(公財)竹中育英会
緑化施設部門	虎ノ門ヒルズステーションタワー・ガラスロック・江戸見坂テラス	東京都港区	森ビル(株)/(株)久米設計/(株)タウンスケープ研究所/(株)グリーン・ワイズ/鹿島建設(株)/イビデングリーンテック(株)/(株)日比谷アメニス

●都市緑化機構会長賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
緑化施設部門	聖蹟桜ヶ丘北地区既存堤防の護岸に資する超緩勾配盛土整備と緑地の創出	東京都多摩市	東京建物(株)/(株)東栄住宅/京王電鉄(株)/伊藤忠都市開発(株)/三井住友建設(株)/光井純アンドアソシエーツ建築設計事務所(株)
特定テーマ部門	おうち植物園		手づくり建築工作舎

●2027年国際園芸博覧会協会特別賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
特定テーマ部門	T-バイオフィリックグリーン®		大成建設(株)

④ 都市の緑三賞表彰式の開催

「緑の都市賞」、「緑の環境プラン大賞」、「緑化技術コンクール」の受賞団体を表彰するため、佳子内親王殿下のご臨席のもと、「第8回みどりの『わ』交流のつどいー都市の緑三賞表彰式ー」を開催した。

主 催 公益財団法人都市緑化機構、一般財団法人第一生命財団
 開催日 令和7年12月15日(月)
 会 場 明治記念館(東京都港区)
 式典概要 第一部 表彰式
 主催者挨拶
 佳子内親王殿下のおことば

来賓祝辞

賞状授与

(1) 第45回緑の都市賞

(2) 第36回緑の環境プラン大賞

(3) 第24回緑化技術コンクール

受賞者代表挨拶

閉会

第二部 「都市の緑3表彰」受賞作品ご紹介

第三部 交流会

参加者数 約180名

2) 全国花のまちづくりコンクール

花のまちづくりを普及させるため、花のまちづくりコンクール推進協議会（公益財団法人日本花の会、公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会、全国花みどり協会、公益財団法人都市緑化機構により構成）の主催により、花によるまちづくりの優れた取り組みを顕彰している。

第35回「全国花のまちづくりコンクール」は、審査会（第一次審査会：7月31日（木）、第二次審査会：9月10日（水）開催。委員長：齋藤 京子 一般社団法人家の光協会理事）を経て、以下の88件が受賞した（なお、第31回「全国花のまちづくりコンクール」より、入賞回数が一定数に達した方々の継続的な活動を特別に称えることを目的とし、新たに「特別賞」を設けている）。

第35回「全国花のまちづくりコンクール」 受賞者一覧

●大賞 国土交通大臣賞

受賞部門	受賞者	所在地
市町村	射水市	富山県射水市
団体	名塩さくら台景観緑化クラブ	兵庫県西宮市

●大賞 農林水産大臣賞

受賞部門	受賞者	所在地
団体	浦戸諸島「海と花の物語」	宮城県塩竈市
個人	佐々木 裕哲	和歌山県有田川町

●大賞 文部科学大臣賞

受賞部門	受賞者	所在地
学校	伊奈町立小針北小学校	埼玉県伊奈町

●優秀賞

受賞部門	受賞者	所在地
団体	花のまち 花くらぶ	北海道東神楽町
団体	まちづくり宮ノ下地区委員会	福井県福井市
団体	新川姫蛭と花を守る会	大阪府高槻市

受賞部門	受賞者	所在地
団体	あさごなでしこの会	兵庫県朝来市
団体	しょうばら花会議	広島県庄原市
団体	特定非営利活動法人はかた夢松原の会	福岡県福岡市
学校	恵庭市立恵み野中学校	北海道恵庭市
学校	群馬県立富岡実業高等学校 草花部	群馬県富岡市
個人	奥川 きみ子	兵庫県西宮市
個人	角所 誠司・いづみ	兵庫県南あわじ市
企業	武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園	京都府京都市

- ・奨励賞 [6件]
- ・入選 [57件]
- ・特別賞 [9件]

3) ユニバーサルデザイン施設等普及事業

都市公園等を誰もが支障なく共に利用でき、利用者や地域住民への潤いと安らぎを与えることを目的として、一般財団法人日本宝くじ協会の協力により、優れた機能を有するユニバーサルデザイン施設等の地方公共団体等への提供を行っている。

令和7年度は、令和5年度に配布した10種類の製品についてアンケートを実施し、アンケート結果を基に製品の開発者に対してフィードバックを行った。

また以下33団体に対し、コミュニティプランター、テーブル・ベンチセット、水飲み場、インクルーシブブランコ等のユニバーサルデザイン施設計39基を提供した。

都道府県：群馬県、神奈川県、新潟県、兵庫県

政令市：札幌市、仙台市、千葉市、川崎市、新潟市、堺市、神戸市、北九州市

その他市町村：八戸市、横手市、郡山市、足利市、前橋市、館山市、武蔵野市、小布施町、袋井市、湖西市、焼津市、富士市、一宮市、豊橋市、愛西市、長岡京市、橿原市、東広島市、福山市、大分市

公園関係団体：公益財団法人兵庫県園芸・公園協会

4) まちニワ創出活動助成

事業の実施に向け、助成内容、協賛企業との連携等について企画、検討を行った。

5) その他の助成

全国各地で社会問題となっている人口減少・高齢化、中心市街地の空洞化等により活力の衰退が深刻化する地域を対象に、花・みどりの提供により景観や生活環境の改善や賑わいの創出など人々の癒しや活力の源となる空間の創出を目的と

した、地方公共団体へ花苗と花壇用コンテナ等の提供を実施した。

令和7年度は、19の自治体等の26か所の施設に対して、計171基のプランターを花苗・土壌と共に提供した。

北海道 恵庭市
岩手県 宮古市、花巻市
福島県 相馬市、富岡町
群馬県 藤岡市
埼玉県 北本市
富山市 射水市
石川県 羽咋市、中能登町
静岡県 焼津市
長野県 上田市、小布施市
京都府 南丹市
広島県 三原市
福岡県 久留米市
宮崎県 新富町
熊本県 熊本市
一般財団法人沖縄美ら島財団

(3) 都市緑化に関する調査、研究、技術の開発及びこれらの成果の普及

都市環境の改善やみどり豊かな都市の実現を図るため、令和7年度は以下について、共同調査研究、受託調査研究等の方法により、以下に係る調査、研究等を行った。

- 1) 都市緑化による環境の創造、改善に関する調査、研究及び技術開発
- 2) 都市における新たな緑化空間の創出に関する調査、研究及び技術開発
- 3) 都市における緑化を推進するための植栽植物の育成、管理に関する調査、研究及び技術開発
- 4) 国・地方公共団体による都市緑化、企業による緑地創出、市民・企業参加の花と緑のまちづくり等の推進に関する調査及び研究共同研究

① 共同調査研究

ア 公園緑地における防災技術に関する調査研究

都市公園の防災機能の向上に関する調査研究について、令和7年度は令和6年に発生した能登半島地震に係る教訓情報について、災害時における都市公園の管理・運用の実態を把握するため、都市公園に係る指定管理者を対象にアンケート調査を実施した（令和7年11月28日（金）～令和8年1月31日（土））。

また、防災公園に関する特別講演を下記のとおり実施した。

日 時 令和7年6月19日(木)

会 場 公益財団法人都市緑化機構 会議室

特別講演 防災公園の平時利用と園芸による被災者支援

千葉大学大学院園芸学研究院 教授 岩崎 寛

イ ユニバーサルデザインに関する調査研究

障がい当事者ととともに都市公園・交通機関を利用しながらアクセシビリティの研究、障がいの有無に関わらず公園の魅力を満喫する方法を研究する事業(公園を歩こう)の実施、従来のユニバーサルデザインの概念を更に進化させ、「誰一人取り残さない社会」「インクルーシブな社会」の実現に貢献する公園づくりをテーマに情報交換、視察等を行った。

ウ 都市環境の保全、育成、創造に関する調査研究

これからの時代におけるみどりによる都市環境の保全・育成及び魅力ある都市環境の創造を目的に、みどりの効果や活用方法、維持管理手法、発信方法等についての検討及び取りまとめ、また、グリーンインフラの普及に向けた実験及び検討等の調査研究及び技術開発について、大学、事業者等と共同で実施した。

エ 環境緑化に関する調査研究

緑化技術開発として「樹木の耐風性試験」、「新野生種クマノザクラの都市緑化植物としての適性の検討」、「雨水貯留流出遅延量向上のための改修手法の検討」、「有機廃材の土壌中における炭素固定の評価方法を検討」、「緑のダム・灌水検討プロジェクト」、「屋上・壁面緑化防水リニューアルプロジェクト」を実施した。

また、当機構と社団法人韓国人工地盤緑化協会(2004年に相互技術協力協定を締結)は、日韓両国において交互にセミナーを開催する等、日本と韓国における屋上・壁面・特殊緑化技術に関する情報交換と相互交流を通して技術の発展に努めてきている。令和7年度は、日本において第10回となる日韓屋上緑化技術国際セミナー、現地視察会を以下の通り開催した。

第10回日韓屋上緑化技術国際セミナー

日 時 令和7年9月17日(水) 10:00~12:00

場 所 清澄庭園 大正記念館

テ ー マ これから望まれるみどり~都市緑化の方向とは~

開会挨拶 公益財団法人都市緑化機構 理事長 横張 真

社団法人韓国人工地盤緑化協会 会長 イ ドングン

国土交通省都市局 公園緑地・景観課 緑地環境室長 望月 一彦

特別講演 ソウル特別市庭園都市局 造園課 課長 オン スジン

技術動向 江原大学校生態造園デザイン学科 教授 ギル スンホ

アースグリーンコリア 本部長 ハン スンジン
環境緑化技術共同研究会 橘 大介

現地視察（令和7年9月16日（火）～19日（金）の間に実施）

喜多見ふれあい広場、温故創新の森 NOVARE、清澄庭園、赤坂インターシティ
AIR、オークラ東京、虎ノ門・麻布台ヒルズ、虎ノ門周辺、東京ポートシティ
竹芝（スキップテラス）

みんなで考えよう都市の緑セミナー第12回

認定制度を活用した企業による緑地の取組

日 時 令和7年4月18日（金）16:15～18:15

開催方法 ウェブミーティング方式

講 師 公益財団法人都市緑化機構 菊池 佐智子

みんなで考えよう都市の緑セミナー第13回

ニューヨークからポートランドへ：米国都市緑化の最前線を歩く

日 時 令和7年7月16日（水）16:15～18:15

開催方法 ウェブミーティング方式

講 師 環境緑化技術共同研究会 関根 武

みんなで考えよう都市の緑セミナー第14回

光環境制御が拓くオオカナダモ駆除

日 時 令和7年10月8日（水）16:15～18:15

開催方法 ウェブミーティング方式

講 師 東京農業大学 准教授 浅井 俊光

みんなで考えよう都市の緑セミナー第15回

屋上緑化の歴史～古い屋上緑化の造成技術を考える～

日 時 令和8年1月22日（木）16:15～18:15

開催方法 ウェブミーティング方式

講 師 大阪公立大学 教授 山田 宏之

② 受託調査研究

都市緑化に関する調査研究を幅広く進めるため、国及び地方公共団体等からの委託を受けて、以下の調査を実施した。

- ・海外日本庭園の修復を通じた造園技術の発信及び2027年国際園芸博覧会を契機とした庭園等の魅力発信検討調査（国土交通省）

※海外日本庭園再生プロジェクト（国土交通省、平成29年～令和3年）の取組を踏まえ、①日本庭園の修復等を通じた海外の日本庭園に関わる団体等とのネットワーク形成・強化、②連携プログラムの効果的な展開検討調査、③連携プログラムのモデルとなる普及啓発の実施、④庭園等を通じた地域振興に関する取組の普及及びネットワーク強化のための検討を行った。

- ・都市公園における温室効果ガス吸収源としての機能増進に関する検討調査（国土交通省）
 ※都市基幹公園及び大規模公園を除く面積規模が大きい都市公園の温室効果ガス吸収源としての機能を把握するため、樹齢 31 年以上の樹木の成長傾向及び成長量の実態調査を有識者会議の元実施し、樹木の吸収期間についての検討を行った。
- ・都市における緑化関連技術の普及方策等検討調査業務（国土交通省）
 ※グリーンインフラの実装に向けて、地方公共団体や民間事業者等の取組等を把握し、緑化技術の今後の推進方策や、2027 年国際園芸博覧会開催も見据えた緑化技術の普及方策等について検討した。また、都市における計画的な緑地の保全・緑化の推進に向け、計画策定に必要な目標や指標の検討の参考となる技術的知見を整理した。
- ・都市緑化等による温室効果ガス吸収源対策の推進等に関する調査（国土交通省）
 ※パリ協定に基づく枠組のもとで、条約事務局に提出するための都市緑化等による温室効果ガスの吸収量の算出に係るデータを整理するとともに、吸収量算定の精度向上に係る検討等を行った。
- ・令和 7 年度優良緑地確保計画認定制度に係る審査支援業務（国土交通省）
 ※改正都市緑地法に基づく優良緑地確保計画の認定制度について、緑地確保事業者から申請があった際に、申請内容の評価基準への適合性についての調査を含む審査の支援を行うとともに、認定にあたり適切かつ公正な審査を行うための審査委員会の開催補助等を行った。
- ・全国都市緑化佐賀フェア（仮称）基本構想策定に係る支援業務委託（佐賀県）
 ※令和 10 年度に開催を予定している「全国都市緑化佐賀フェアについて、基本理念・基本方針、事業内容、施策展開、会場及び会期、開催規模及び開催の形態等条件整理、会場計画、準備体制及び開催体制の整理、事業スケジュール、概略事業費等の検討・整理を行い、基本構想案の策定支援を行った。
- ・2027 年国際園芸博覧会政府出展業務（屋外展示）実施設計・運営実施計画等業務における「会議運営支援」（株式会社プレック研究所）
 ※2027 年国際園芸博覧会政府出展実施設計・運営実施計画等における「推進会議」の運営補助を実施した。

なお、都市緑化に関する調査、研究、技術開発については、日本国内だけでなく海外も対象に実施しており、特に横浜市において開催が予定されている 2027 年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）を踏まえ、日本の緑化技術等の情報発信に関する調査、研究を継続して実施した。

（４）都市緑化に関する評価

1) 社会・環境貢献緑地評価システム（SEGES）による評価

緑をまもり育てる活動を通じて社会や環境に貢献している企業の緑地を対象に、特に優れた取組みを評価・認定する事業を実施した。

① そだてる緑部門

民間が所有する土地で緑地の保全・創出活動に取り組んでいる企業等の取組みを認定する「そだてる緑」部門について、新規審査2件（表中◎）、更新審査を9件、維持審査19件を実施した（令和7年度末現在の認定数は39件。認定後は更新審査（3年ごと、現地審査）と維持審査（毎年、書類審査）を実施）。

令和7年度末現在の「緑の殿堂」認定数は13件（表中◆印）となった（認定後は更新審査（5年ごと、現地審査）を実施）。

■そだてる緑部門 令和7年度認定緑地一覧

認定企業・緑地名	所在地	認定年度
◆三井住友海上火災保険株式会社 駿河台緑地	東京都千代田区	2005
◆トヨタ自動車株式会社 トヨタの森	愛知県豊田市	2005
◆ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社 幸田サイト	愛知県額田郡幸田町	2005
◆花王株式会社 和歌山工場	和歌山県和歌山市	2005
◆富士通株式会社 沼津工場	静岡県沼津市	2006
◆ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 大分テクノロジーセンター 国東サテライト	大分県国東市	2007
◆株式会社グリーン・ワイズ 本社事業所	東京都多摩市	2008
◆サンデン株式会社 サンデンフォレスト	群馬県前橋市	2008
◆株式会社西武不動産プロパティマネジメント 「飯能・西武の森」	埼玉県飯能市	2008
◆学校法人立正学園大学 立正大学熊谷キャンパス	埼玉県熊谷市	2008
◆出光興産株式会社 北海道製油所	北海道苫小牧市	2010
◆出光興産株式会社 愛知事業所	愛知県知多市	2010
日産自動車株式会社 日産テクニカルセンター／日産先進技術開発センター	神奈川県厚木市	2011
ダイキン工業株式会社 ダイキンアレス青谷	鳥取県鳥取市	2011
株式会社ディスコ 広島事業所 桑畑工場	広島県呉市	2012
◆株式会社晴海コーポレーション 晴海アイランドトリトンスクエア	東京都中央区	2014
YKK株式会社 黒部事業所 YKKセンターパーク	富山県黒部市	2016
株式会社ディスコ 長野事業所 茅野工場	長野県茅野市	2017
NTT株式会社 武蔵野研究開発センタ	東京都武蔵野市	2017
旭化成株式会社／旭化成ホームズ株式会社 あさひ・いのちの森	静岡県富士市	2017

認定企業・緑地名	所在地	認定年度
NTT 株式会社 横須賀研究開発センタ	神奈川県横須賀市	2018
三菱電機株式会社 受配電システム製作所	香川県丸亀市	2018
医療法人社団中郷会 新柏クリニックと周辺街区（めぐりの庭、糖尿病みらい）	千葉県柏市	2019
佐川急便株式会社 佐川急便「高尾 100 年の森」	東京都八王子市	2019
首都高速道路株式会社 おおはしりの杜	東京都目黒区	2020
独立行政法人都市再生機構 UR 賃貸住宅 常盤平団地	千葉県松戸市	2020
KMバイオロジクス株式会社 菊池研究所 明治ホールディングス株式会社 明治グループ自然保全区 くまもと こもれびの森®	熊本県菊池市	2021
東レ株式会社 東海工場	愛知県東海市	2021
JESCO ホールディングス株式会社 JESCO 那智勝浦の保安林	和歌山県東牟婁郡 那智勝浦町	2022
株式会社ノーザンホースパーク ノーザンホースパーク	北海道苫小牧市	2022
戸田建設株式会社 筑波技術研究所	茨城県つくば市	2022
有限会社ノーザンレーシング 植苗社有林	北海道苫小牧市	2022
シチズン時計株式会社 本社東京事業所	東京都西東京市	2022
IDEC 株式会社 IDEC 本社/技術研究センター いずみの森	大阪府大阪市	2022
ダイキン工業株式会社 淀川製作所	大阪府摂津市	2022
北海道石油共同備蓄株式会社 北海道事業所	北海道苫小牧市	2023
住友商事株式会社 KANDA SQUARE	東京都千代田区	2024
◎株式会社安藤・間 安藤ハザマ技術研究所	茨城県つくば市	2025
◎Meiji Seika ファルマ株式会社 足柄研究所 明治グループ自然保全区 まほろばテラス	神奈川県小田原市	2025

② つくる緑部門

都市開発・建築行為の計画に関し、良好な緑空間を創出し、社会・環境に貢献する緑の計画であることを認定する「つくる緑」部門について、令和7年度は以下の2件を新たに認定した（令和7年度末の認定件数は27件）。

■ つくる緑部門 令和7年度新規認定緑地一覧

認定緑地名	事業者名	所在地
(仮称) 目黒3丁目計画	日鉄興和不動産株式会社/東京建物株式会社/安田不動産株式会社	東京都目黒区
赤坂七丁目2番地区第一種市街地再開発事業	赤坂七丁目2番地区市街地再開発組合（参加組合員：日鉄興和不動産株式会社/野村不動産株式会社）	東京都港区

③ 都市のオアシス部門

公開性・安全性・環境への配慮等の基準を満たす民間事業者所有の緑地を認定する「都市のオアシス」部門について、令和7年度は新たな認定はなかった（令和7年度末の認定数は47件、認定後は更新審査（3年ごと、現地審査）を実施）。

2) 都市緑化技術審査証明事業による評価

都市緑化技術の審査・証明は、民間企業等において開発された新技術の有効性を審査・証明し、国や地方公共団体に情報提供することにより、新技術の活用を促進し、都市の緑化に係る公共工事の質の向上や効率的な運用等に寄与することを目的としている。

令和7年度は、令和6年度に審査・証明を更新した高分子系発酵下水汚泥コンポスト「JCN エコ コンポスト」について周知・広報等を実施した。

(5) 都市緑化に関する人材の育成、情報の収集及び発信、国際協力等

1) 調査研究活動への支援

大学院生等の若手研究者による都市緑化に関する調査、研究及び技術開発を奨励するため、優れた研究テーマに対して助成を行うことにより、次世代を担う若手研究者の育成を図っている。

令和7年度は、以下に所属している3名の若手研究者の調査研究活動に対して、総額75万円の支援を行った。なお、本事業の研究成果は調査研究終了後に機関誌「都市緑化技術」において発表を行っている。

所属研究機関	氏名	研究テーマ
東北大学大学院 工学研究科都市・建築学専攻	西山 陽歌	単木樹木の炭素固定効果の定量化のための配置間隔、樹冠形状、葉面積密度の影響に関するスタディ
兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科	藤井 芹奈	通勤経路中の都市公園の景観は労働者にリカバリー経験をもたらすか
九州大学 芸術工学府芸術工学専攻	梅田 兼嗣	ガーデンツーリズム登録制度が地域住民及び観光客にもたらす効果に関する研究

2) 都市緑化技術研修会の開催

都市のみどりに関わる実務者や技術者の能力向上、都市緑化技術に関する情報の提供及び技術の普及等を目的として、以下のとおり都市緑化技術研修会を開催した。

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）
 日 時 令和8年1月29日（木）～30日（金）
 参加者 78人
 テーマ 「都市樹木のマネジメント<倒木リスクにどう向き合うか>」
 講演 都市樹木の持続性と公共性をどう育むか-安全と共生の再定義に向けて-
 NPO 法人花と緑のまち三鷹創造協会理事長（元東京農業大学教授） 濱野 周泰
 持続可能な都市樹木のマネジメント
 株式会社庭樹園 代表取締役 當内 匡
 次世代への継承に向けた街路樹管理
 国土技術政策総合研究所 緑化生態研究室 室長 小島 孝文
 都市樹木リスクマネジメント診断技術-都市樹木の持続可能性に関する「樹木診
 断技術」の最新動向-
 株式会社エコル 代表取締役 大島 渡
 樹木点検アプリの導入と拡張-公園維持管理業務のDX化の試み-
 公益財団法人東京都公園協会 樹木健全担当係長 萩谷 知也
 アークヒルズのみどり・タウンマネジメントと植栽維持管理について
 森ビル株式会社 設計部 設計監理部監理3グループ（外構・土木担当）
 菊田 宏志
 事例視察 都心に豊かな森の環境を再現～大手町の森（東京建物株式会社）

3) 機関誌の発行

優れた緑化の取り組み事例や都市緑化技術等に関する最新情報の発信及び調査研究成果の発表等を内容とする機関誌「都市緑化技術」を発行している。

令和7年度は以下のとおり発行し、全国の造園・環境系の学部等を有する大学、図書館などの多くの閲覧が見込まれる機関・施設等に配布した。

なお、令和7年度に発行した132号において、公益社団法人日本造園学会の創立100周年及び2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）を契機として「ランドスケープアーキテクトは明日の都市に貢献できるか」をテーマに、気候変動と多発する自然災害、食料・エネルギー危機、感染症の蔓延などの世界的な課題や、本格的な人口減少及び超高齢化社会を迎え、時代が大きく変動する中でのこれからの都市のあり様について対談を行った。対談の内容について機関誌としてまとめ、公益社団法人日本造園学会と当機構の共同企画として発行した。

- No. 130 「緑の認証とその効果」
- No. 131 「ガーデンツーリズム登録制度の6年とこれから ―制度、実践、そして展望」
- No. 132 「ランドスケープアーキテクトは明日の都市に貢献できるか～日本造園学会と都市緑化機構の共同企画～」
- No. 133 「都市樹木の持続可能なマネジメント」

発行部数 （各号） 2,000部
 配布箇所数（各号） 1,000箇所

4) 植樹保険制度の活用支援

植樹保険の団体保険契約者として、公共植栽工事において枯損した樹木等の植替えが円滑かつ速やかに行われるよう、植栽工事請負者に対する制度の活用支援を行っている。令和7年度における植樹保険の付保件数は、209件であった。

2 緑地保全・緑化支援事業

都市緑地法（昭和48年法律第72号。以下「緑地法」という。）第69条第1項の規定に基づき令和7年3月に国土交通大臣より指定された都市緑化支援機構として、都市における緑地の保全及び緑化の推進を支援するため次の事業を実施した。

(1) 特定緑地・特定土地保全業務

緑地法第17条の2第1項の規定による横須賀市からの要請に基づき、衣笠・大楠山近郊緑地特別保全地区内の緑地の買入れを行った。買入れに当たり、都市開発資金の貸付けに関する法律（昭和41年法律第20号）第1条第9項による貸付金を借用した。

(2) 優良緑地確保支援事業資金貸付業務

認定優良緑地確保計画に従って行われる緑地確保事業の実施のために必要な資金の貸付けについて、国土交通大臣の認定を受けた又は受けようとする民間事業者等からの照会及び相談に対応した。

(3) 調査研究等

都市緑地の保全及び緑化支援に関して情報を収集するとともに、「都市緑化支援機構」についてホームページを公開し、周知を図り、都道府県等からの照会及び相談に対応した。また、国からの委託を受けて、以下の調査を実施した。

- ・都市緑地の機能維持増進等新たな都市緑地保全・緑化推進方策の運用に関する検討調査（国土交通省）
※特別緑地保全地区等の質・量の確保を推進するため、令和6年度に創設された機能維持増進事業の実施方法等の検討を行うとともに、民間による緑地創出の促進に向けた制度活用方策の整理を行った。

3 その他の取組

(1) 訪問学習等への対応

本年度は訪問学習への対応依頼はなかった。

(2) 都市緑化の活動を推進するための募金活動

令和7年度は、ホームページ等でのPRにより寄付の拡大に努めた。また、10月に実施した都市緑化キャンペーンにおいて募金活動等を実施した。

また、飲料を取り扱う事業者との連携により寄附型自動販売機の設置、運用に關しての取組みを実施した。

(3) 他団体等への協力

都市緑化基金等連絡協議会（会員数 41 団体）の活動に事務局として協力した。事務局として理事会、総会の運営、情報誌の発行、研修会（全国都市緑化フェアの視察）を実施した。

4 公益法人の運営体制の充実を図るための取組

公益財団法人として社会的な信頼に応え、健全な組織運営を継続していくため、ガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底、適正な会計処理の確保に向けた体制整備を推進した。令和7年度は、以下のとおり運営体制の充実を図るための取組み、関係法令の改正への対応を行った。

(1) コンプライアンスの推進と職場環境の整備

役員及び職員を対象として、コンプライアンス意識のさらなる醸成と、健全で働きやすい職場環境の維持・向上を目的としたハラスメントに関する研修を以下の通り実施した。

令和8年度研修について

実施期間（視聴可能期間）：令和7年8月4日（月）～8月24日（日）

実施形式：e-Learning

対象者：役員、職員

研修内容：「ハラスメント防止講座～基礎から学ぶパワーハラ・セクハラ」

内容：パワーハラスメント、セクシュアルハラスメント等の定義、事例、および発生時の対応、風通しの良い組織づくりの重要性についての学習

(2) 法令改正に伴うガバナンス及び会計体制の強化

令和7年に施行された「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」の改正及びそれに伴う公益法人会計基準等の変更に適切に対応するため、外部の専門家として税理士を招聘し、法律の改正に伴い変更となった公益法人会計基準等に対する的確な実務対応及び指導體制の構築を行った。

5 会議の開催

次のとおり理事会、評議員会を開催した。

(1) 理事会

- ・令和7年5月22日(木) 第39回通常理事会
議案 令和6年度事業報告及び収支決算について
定時評議員会の開催について
規程の改正について
報告事項 都市緑化支援機構の指定について
特定緑地保全業務に関する規程の訂正等について
資産運用状況の報告について
第41回全国都市緑化かわさきフェアについて
第42回全国都市緑化ぎふフェアについて
- ・令和7年6月6日(金) 決議の省略による理事会
議案 会長、理事長及び専務理事の選定について
常勤役員の本給月額について
顧問の選任について
- ・令和7年10月2日(木) 第40回臨時理事会
議案 緑地保全・緑化支援事業に係る長期借入金について
報告事項 会長、理事長及び専務理事の職務執行状況報告について
資産の運用状況について
第42回全国都市緑化ぎふフェアについて
都市の緑3表彰の受賞団体について
- ・令和8年3月6日(金) 第41回通常理事会
議案 令和8年度事業計画及び収支予算について
令和8年度資産運用方針について
都市緑化基金(特定資産)の運用益の処分について
緑地保全・緑化支援事業に係る長期借入金について
役員等賠償責任保険契約の更新について
規程の一部改正について
公益充実資金の積立について
報告事項 会長、理事長及び専務理事の職務執行状況報告について
資産の運用状況について
第42回全国都市緑化ぎふフェアについて
都市の緑3表彰の受賞団体について

(2) 評議員会

- ・令和7年6月6日(金) 第15回定時評議員会
議案 令和6年度収支決算について
任期満了に伴う評議員の選任について
任期満了に伴う役員の選任について

報告事項 令和6年度事業報告について
令和7年度事業計画及び収支予算について
資産の運用について
都市緑化支援機構の指定について
第7回「みどりの『わ』交流のつどい」—都市の緑三賞表彰式—について
第41回全国都市緑化かわさきフェアについて
第42回全国都市緑化ぎふフェアについて

6 評議員、理事、監事の異動

(1) 評議員

令和7年6月6日付け
就任 須磨 佳津江
就任 野口 智子
就任 涌井 史郎
就任 石川 幹子
就任 濱野 周泰
就任 塚谷 裕一
就任 和田 新也
就任 高梨 雅明
就任 高原 和香子
就任 中島 正弘
就任 長谷川 知子
退任 中島 宏
退任 竹歳 誠
退任 富田 祐次
退任 岩村 有広

(2) 理事

令和7年6月6日付け
就任 内田 裕郎
就任 柳野 良明
就任 酒井 一江
就任 横張 真（同日付で代表理事に選任）
就任 奥村 義康
就任 市川 晃（同日付で代表理事に選任）
就任 傍島 裕二郎
就任 久間 亜紀
就任 古澤 達也
就任 竹内 徹
就任 水庭 千鶴子
就任 柳井 重人
退任 山口 博喜
退任 大嶋 聡
退任 木村 正和

令和7年9月30日付け
退任 奥村 義康

(3) 監事

令和7年6月6日付け
就任 上原 啓史
就任 鎗田 一

※令和7年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。